

主題

つなげ合うことで共に高め合い、自ら探究する児童の育成
～様々な教科においても～

2-1 算数科「かけ算九九づくり」

<低学年部会からの提案 ～探究のサイクルをうむために～>

①自力解決の方法を自己決定させる。(解決タイム)

1. 一人で考える
2. 友達と考える
3. 他者参照する
4. できた子に聞く
5. 先生に聞く

・自己決定させることで課題に対する意欲を高める。

・何も手につかない児童を出させないために、友達や先生に聞ける環境づくりをする。

②九九表の活用と活用

既習の2～5の段を九九表に記入させた後、気付いたことを共有することで、九九表の規則性や利便性に気付かせ、その気付きを生かして探求的に未習の段の九九作りに取り組めるようにする。また、作る段は1、6、7、8、9の段から自由にやりたい段を選ばせ、子どもたちの意欲を引き出す。さらに、本九九表の拡張を用意し、自ら探求していく姿を期待している。

③つなげタイムの活用

全体考察の際につなげタイムを活用する。それぞれの考えをつなげ合うことで、考えを比較する。比較する中で、新たな気付きをもたせた後で、さらに探求的に課題に取り組めるようにする。

○協議会で話し合いたいこと

分科会からの提案が、児童が自ら探究することにつながっていたか。
より効果的な手立てはあったか。